（郵便物認可）　（本號八面）　明治二十四年三月廿八日　（定價二錢）

時事新報

時事新報定價
時事新報へ一年三百六十五日一日も休刊セス其代價
郵送料廣告料ハ左ノ如シ
一枚二錢〇一箇月前金五十錢〇三箇月前金一圓五十錢〇六箇月前金三圓〇一箇年前金六圓
〇時事新報ハ市内ニ郵便ニテ送スルモノニ限リ右定價ノ外ニ一箇月十五錢ノ郵送料ヲ申受ク

時事新報廣告料前金

一行五號活字廿四字詰	一日限	一日以上六日迄	七日以上
一行ニ付	十二錢	十一錢	十錢五厘

月曜日并に大祭祝日の翌日等他新聞紙の休刊日に限り時事新報配達の求めに應ず此場合には新報代價一箇月前金八錢にして地方に郵送する分は此外に郵便の實費を申受く可し

時事新報は一年三百六十五日一日も休刊無し

第二千九百七十二號　土曜日
明治廿四年三月廿八日（癸丑）
舊暦辛卯二月十九日
日出午前五時五十六分　日入午後六時三十七分
月出午後八時三十三分　月入午前六時五十八分
潮干午前七時十一分　潮干午後七時二十五分
（西暦一千八百九十一年）

時事新報

貴賓の接待に就き東京市會に望む

今度露國皇太子の來遊に付き我帝室に於ては極めて鄭重の待遇ある筈にて目下夫れ〳〵準備中のよし國交の禮法に於て左もある可きよとあれども抑も露國は我最近の友邦にして商賣貿易の關係も少おからざる其上に今回來遊の皇太子は他年一日露國に君臨せらるる可き貴賓にして取も直さず同國全體の榮譽を代表せらるゝものなれば獨り帝室の賓とし見る可きに非ず即ち日本の國賓にして其國賓たる皇太子に對して十分の好意を表するは我國民たるもの〻當に務む可き所なり左れば愈よ來遊の上は其筋に於て國交上の待接ある其外に國中の人民は到る處貴賓の一行を歓迎して友邦に對し好意を致すの機會を空ふせざるは我輩の信じて疑はざる所なれども我輩は此際に當り特に東京市會の人々に向て所望せんとするものあるは外あらず西洋諸國に於ては外國貴賓の來遊あるに際し其首府は申すまでもなく國中の重立たる都府に於ては何れも其府民の催しにて或は夜會を開き或は劇場に招待するなど通常の例にして文明國の美風なるが如し既に我國にても前年米國の前大統領グランド將軍來遊の折、東京の府民は非常の熱心を以て之を迎へ府民全體の名譽を以て上野公園に大會を開き又は新富座に演劇歌舞を催はす等、米國の貴賓を待するに國賓の體を以てし十分の好意を致したるは世人の今に記憶して稱賛する所なり蓋し外賓を迎へて常に歓待を怠らざるは從來我國民の美德にして西洋文明諸國の風にも恥ざる所なれども前にも述べたる如く今回來遊の露國皇太子は最近友誼國の榮譽を代表せらるゝ無二の貴賓にして東京の市民は挙國の下に親しく貴賓に接するの機會もあり又その接待の趣向場所等にも自から便利の地位に居るものなれば全國の民意を代表して遺んで其事に當るみな市民の本分なる可し開く所に據れば來遊の期は來る五月の初頃なりと云へば恰も仲春の好時節にして天然の風物自から人を迎ふる其上に府下百萬の市民が全國の民意を代表し熱心の歓待を盡すに於ては必ずや貴賓の情を滿足して十分のものあるべし其趣向の如きは敢て拙ふるみとを要せざれども例へば府下相應の場所に大會を催はして貴賓の一行を招待し或は歌舞伎座新富座の演劇を覧に供するなども亦一趣向にして宮城内に於ける饗趨觀兵式等の儀式に比すれば表裏公私自から趣を異にして賓客の情を慰むる所も亦自から別あらざるを得ず從來外國の來賓を饗するに或は彼の藝妓を招き技を演せしめて興を助くるみとおどもある由なれども今の所謂藝妓なる者の中には實娼と同樣不潔なる種族多くして苟も公けの席に待せしむ可きに非ざれば況して貴賓の待遇に此種の不潔者を以てするは非禮の甚しきものとして之を戒しむるみと勿論なる可し其趣向は兎も角もとして似府下の市民の人々に貴賓接待の心掛あるは勿論の事なれども此種の事は銘々個々の思立のみにて能くす可きに非ざれば市民の代表たる市會に於て取敢へず此事を協議し委員を撰みて準備に取掛るるみと肝要なる可し京都なり大坂なり貴賓來遊の地に於ては何れも夫れ〳〵の用意あるみとならんなれども其地方の人々とても自から東京市民の擧動を見て之に倣ふの意味もあきに非ざれば東京市會に於ては此好機を空ふせず一日も早く協議して其用意に怠らざらんみと我輩の希望に堪へざる所なり

雜報

○日本の火災保險　日本橋坂本町なる明治生命保險會社は創業以來被保險者の便利を計らん爲め種々の考案を運らしたる中にも深川倉庫會社と特約を結び同會社保管の貨物にして保險を附しあるものは第百十九銀行にて低利に貸出さしむるみとしなしたる以來荷主の便利多くして保險の申込み次第に增加し目下既に倉庫會社の分のみにて二十萬圓もあり之に通常家屋等の保險を合すれば五十萬圓に達し尚ほ本月中には多數の申込みあるべき見込に付き此模樣にて次第に推進み事業の確立を見る上は一層社務を擴張して外國市場にも支店を出すべき計畫あるよしなるが元來保險事業は我國にて發達殊に鉄く只生命保險のみ稍や見るべきものある如くなれど歐米諸國にては返て火災保險等に關する保險多くして大低の家屋は何れも保險を附するに至り生命保險のものなく其上家賃に迄保險を附するに至り生命保險の如きも二十人に一人の被保險者あらざるは遺憾なりなど〻嘲ち居る有樣にて我國にては思ひもよらざる迄に保險事業の發達し居れば其組織も亦完全にして保險組合あり仲買あり其組合に入れば坐して事業を營み得べく現に南茅場町の海上保險會社の如きは倫敦、リバプール、グラスコー等に代理店を設け次第に業務を擴めつゝあるを見ても保險の盛に行はるゝを知るべし左れば保險料の如きも甚だ廉にして何れも千分の何程と云ふ割合あり然るに日本の如きは世人皆其効用を知らざるが爲め依頼者甚だ少なく隨て保險料も高價あらざるを得ずして目下の處は百分の何程と云ふ割合あれば被保險者の墻へ難き處もあるべけれど危險は東西共に差等あるべき筈なく事ろ東洋にみて多しと云ふて可なるべきに其事業の頗る遅々にして保險料の如きも斯くも割高あらざるを得ざるは畢竟世人が其効用を知らざるの致す處なれども一歩深入して考ふれば商業尚ほ幼稚にして商品の安全を計るの念薄く且つは財産の安固を輕視するの弊尚ほまだ脱却せざる結果なるべしと云へり

○九州鐵道工事延期決議の理由　福岡縣博多の本社に於て此程常議員會を開き今より一ヶ年半株金を募集せざる事并に未着工事を延期する事に決したるよしは當時の紙上に掲載せしが高橋社長より各株主に報道したり其理由書は左の如くあり

謹啓仕候先般九州鐵道會社（工事中止の件請求に對し左の回答書到着候に付此段及御通知候也

請求書照覧

本社機道門司より博多を經て熊本佐賀の兩市に通ずるの線路將さに落成せんとするの日に際し商引續き新に他の線路に向て起工せんとせば續々株金の拂込を要すべき筋必然にして世上金融逼迫の潮勢に逆ひ爲に株券の信用を失し延て株主の困難を極め終に本社の解散如何にも解するに至り實に不容易儀に付貴今未着手の線路の線路は既然起工を見合せ兩三年間當業の實益を視商進で他の線路を延長し充分利益ありと確認したる後に於て起工する方得策なりとの趣旨を切實なる御意見書に接し小生等一同反覆熟讀諸君が斯く迄も厚く本社の爲め御住意相成候段實に感佩に不堪候於本社特に重役會議を開き深く貴意の存する所を拜察し本社既往の經歴を回顧し將來の順序を講究する所を熟考するに昨年來金融逼迫の時運に際し發々株金の拂込を要したるものは他なし九州鐵道の幹骨にして當業の收益最多なるべき確實の見込ある線路は速に落成し以て益々本社の信用を增さんとするの熱心を以て當初より諸般の計畫を爲したるにより不得已同時に各工區に着手したるが爲にして即ち株主諸君の利益を增進せしめんとするの一念に外ならず然るに今や工事は殆んど一段落を告げんとするに際し世上金融の狀況を察すれば依然逆運にして未だ回復の機に至らず此時に當り尚ほ一意敢て他を顧みず敢へ長足の進歩を計るの不得策なるは小生等も亦諸君の御所說に同感を表するなれども國家を興隆せざるなり就ては諸君の御希望を容れ新に着手すべき工事の實績に對しては自今一箇年半の間は株金募集を見合すべきことに決定候而して第七工區熊本三角間二十四哩及第八工區佐賀柄崎間十七哩四分の三は何れも明治二十五年十二月竣功豫定なれども此兩工區竣功期限を來る二十六年十二月迄延期すべきなれども此兩工區竣功するときは自今株金拂込の困難を避るを以て株主諸君も安堵せらるべく此間に於て既成線路營業の利益は充分之を蓄積するときは得るに依り益々本社信用の鞏固なるべきは必然にして將來の盛運期して待つべしと挙存候但目下工事未成工に屬する佐賀熊本兩線路の工費に對し第六回拂込の株金には少許の不足を告ぐべきに付他日諸君へ御相談の上御賞の方法を以て實際に支障なき樣處理すべき見込に御座候以上本社決議の主旨は金融の大勢と實地の景況を斟酌したるものにして不當の考案にあらざるみとは確然に於て御諒解相成候樣奉願候小生等が株主諸君の爲めに機を察し實を講り本社の眞利實益を希圖するの微衷等に御賛察被下度併せて不悉切望候謹啓

九州鐵道會社々長　高橋新吉

同社常議員一同

明治廿四年三月十三日

○官線鐵道の收入金　官線鐵道の總里數は現在五百四五十哩にして敷設線、信越線の如きは收支相償はざる由なれ共東京神戸間は莫大の收益ありて就中京濱間は非常に多額の收入あり既に昨年度の如きは七十餘萬圓に達したる程なりと又本年度總官線の收入概算を聞くに先づ本月末迄には四百五十萬圓に達する見込なりとのみと為すが其支出高は大抵二百萬圓位なるべしと云ふ今官線全體の費額に消費したる金額三千五百萬圓に對し利益金二百五十萬圓を割當れば年七分以上に相當すれども此上尚ほ荷車等完備して盛んに荷物の運送を始めんには更に一層の利益を見るべしと云へり

○空米商の引致　勢州桑名の米商會所最寄に近頃空米相場を營む者あるより其筋にては早くも目を着け追々探偵を遂げたる處事實疑もなき有樣なるに今去る二十三日の午前十時三十分頃十二人の警察官正服角袖の二手に分かれ一時に四箇所の空米商店に蹈込みたるに一箇所は營業を爲し居らざりしも其他の三箇所は見込の如く充分なる證據物件のありしかば直に其營業人伊藤產市水越コウ川上ノ三名及び關係者三名都合六名を引致せり時しも米商會所にては午前十一時の場を開かんとする際にて其れと聞くより驚れも立ち騒ぎしかと正當の營業者中には一人も右の如き不正者あかりしゆゑ皆々安堵して又其整二時に致されしが其効用を知らざるの致す處なれども一歩深入して考ふれば商業尚ほ幼稚にして商品の安全を計るの念薄く且つは財産の安固を輕視するの弊尚ほまだ脱却せざる結果なるべしと云へり

○竜笛の不捌　購求多きが故に造する品は益々不足すると云ふ

○鑵物類の上値　遠き日本橋あるより其筋にては早くも目を着け追々他の問屋仲買に於けるも北海の開けざる前に於て總計五本の航海の開けざる前に於て總計五本の需用口には丁度合して造する品は益々不足すると云ふ

○蝙蝠傘　最寄に近頃空米田舍に持去れる時期なれども云ふ位を引上げ一貫五百五本樟太二十付位ひにて四本棒鋼三貫三百に付一貫二百他鑵乾鯖等も手堅き市況なり

○仕人中の由にて　上等三圓下等十錢、下等一圓十錢以上唐繻十錢より二十方の下落なり

○開館　過般來十餘日間の大盛況なりし處愈々昨日より四

○地所貸借上の法實施　以來始めて四名列席して開するみとあれども

○　吉田農夫郎より石井

判決書

上告論旨中其第三點に經訴人が地所を以て地代借賃の方の間に一定の契約に作成すべき筋合の原由なし得るは論なる其文言に地所通知を受る筋は立法の意思にあらず即地主が過去を求むる中立者地人に對して義務意なる不當判決例のある貴人を過去